

# ぼうさい みくまじろ



No.10

H28. 10. 7 発行

みくまの支援学校  
育友会 防災研修部

## スクールバスにおける防災の取組 NHKによる取材・TV放送

9月23日（金）、NHK和歌山放送局による取材がありました。今年度、5月の「防災参観日」に続いて2回目です。今回は、スクールバスにおける本校の防災の取組を中心に広く県民の皆様にご覧いただく機会と捉え、取材に協力しました。先日、育友会が行った「防災アンケート」において、保護者の方から「スクールバス運行時の防災に不安がある。」という声をいただいています。災害に遭った時、地域の方々の協力は、不可欠です。そのためにも、まずは、

本校の実態を知っていただくことが第一です。



肢体に障害のある生徒のスクールバスへの乗車の様子を撮影。

### ご案内 第4回防災研修部会

- 日時 10月25日（火） 13：00～
- 場所 みくまの支援学校 応接室

文化祭や「新宮市防災フェア」のこと  
について話し合いを予定しています。



### 県PTA連合会・理事会 本校の取組を報告

9月30日（金）、田辺市で県PTA連合会の理事会が開催され、本校から三原会長さんと前岩副会長さんが出席しました。その中で、本校が行っている、全知P連の「調査研究助成事業」について現在の進捗状況を報告しました。本校の「子どもの命を守る取組」が他校の参考になればと思います。



県PTA連合会で三原会長の報告の様子。(H28.9.30)

## 地域の方に インタビュー



今回のNHK和歌山放送局の取材では、地域の声についても収録されました。三輪崎地区の区長さんは、「みくまの支援学校は、地域の避難所」「お互い様の精神が大切」「避難の手助けの必要性」についてお話ししてくれました。この声が県民の皆様に届くことを願っています。



地域住民を代表して三輪崎区長（湊川氏）へのインタビューの様子。

## 学校近隣地域の 自主防災連絡会に出席



自主防災連絡会の様子：各地区等からの代表と行政（新宮市）が協議・情報交換をおこなっています。

9月29日（木）午後7時から行われた地域の自主防災連絡会（三佐木蜂伏地区）にみくまの支援学校も出席しました。このような機会を捉え、少しでも本校の様子を地域の皆様に知っていただき、災害時等に協力をいただくことにつながればと考えています。11月には「学校開放」も計画しています。



## みくまの方丈記 ⑧ ～身近な防災～



榎本校長先生による特別寄稿です。



雷は2番目に怖いものと相場が決まっている。だいたい上位3番までは異論も無かろうか。5月末、特別支援学校長会で「雷注意報発令時におけるプール指導の可否判断」が議題にあがった。その判断は最終的に校長がすることになっているからである。各校の現在の判断基準も含め話し合ったが、対応を統一するまでには至らなかった。教育活動中に起った落雷事故の判決内容を見てみると、最高裁までいった例では学校側の意見陳述は不採用になっている。逆に、「落雷を予見する義務を怠っていた」と厳しく指弾されたのである。そのとき、雷注意報が発令されていたからである。

みくまの支援学校では、グラウンド、プールも含め校外で行う教育活動が多い。児童生徒が卒業後に必要となる体力や技能を伸ばし、社会で守るべきルール等を具体的に体験し学んでおくことは何よりも重要だからである。『糞(アツモノ)に懲りて膾(ナマス)を吹く』ような判断はしたくないとは思う。しかし、最高裁の判断もある。校外で行う教育の実施の可否に難しい判断が求められている。